

地域づくり推進ビジョンの進捗状況

函館開発建設部
令和7年8月

「地域づくり推進ビジョン」は、北海道総合開発計画及び北海道総合計画に基づく施策の展開に当たり、地域の多様な主体で構成する「地域づくり連携会議」において意見交換を行い、地域づくりの方向を検討・共有し、連携・協働の取組を推進するための今後10年のビジョンを示すもの。

(概念図)

(国)北海道総合開発計画

(令和6年3月12日閣議決定)

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

(北海道)北海道総合計画

(令和6年7月11日策定)



(目的)両計画に基づく施策の展開

<多様な主体の参画による地域づくり検討の場>

○渡島地域づくり連携会議

○檜山地域づくり連携会議

※各会議は、市町村長、振興局長、地域関係者、開発建設部長で構成

「地域づくり推進ビジョン」の検討・共有

- ・地域の現状と課題(ベースは道の政策展開方針より)
- ・地域のめざす姿(ベースは道の政策展開方針より)
- ・地域重点プロジェクト
(地域プロジェクト(国)、地域重点政策ユニット(道))
【現行のビジョンはR7.3策定】

(道の地域計画)

道南連携地域
政策展開方針の
検討・共有

【現行の展開方針はR7.3策定】



渡島総合振興局

檜山振興局

函館開発建設部

構成市町村

函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町

道南地域が誇る個性豊かな歴史や文化、多彩で特色ある食や自然の魅力を高め、環境と経済が調和しながら成長し続ける、本州と北海道の懸け橋「道南連携地域」

地域のめざす姿

【食】	○持続可能な農林水産業の展開
【観光・交流】	○北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流人口・関係人口等の創出拡大 ○縄文遺跡群等を活用した魅力あふれる地域づくり
【産業・雇用】	○地域産業の振興と雇用の創出
【脱炭素・環境】	○地域特性を活かした脱炭素化の推進
【暮らし・社会基盤】	○誰もが安心して住み続けられる地域社会の維持

概ね10年の地域のめざす姿を示しています

連携地域の現状・課題

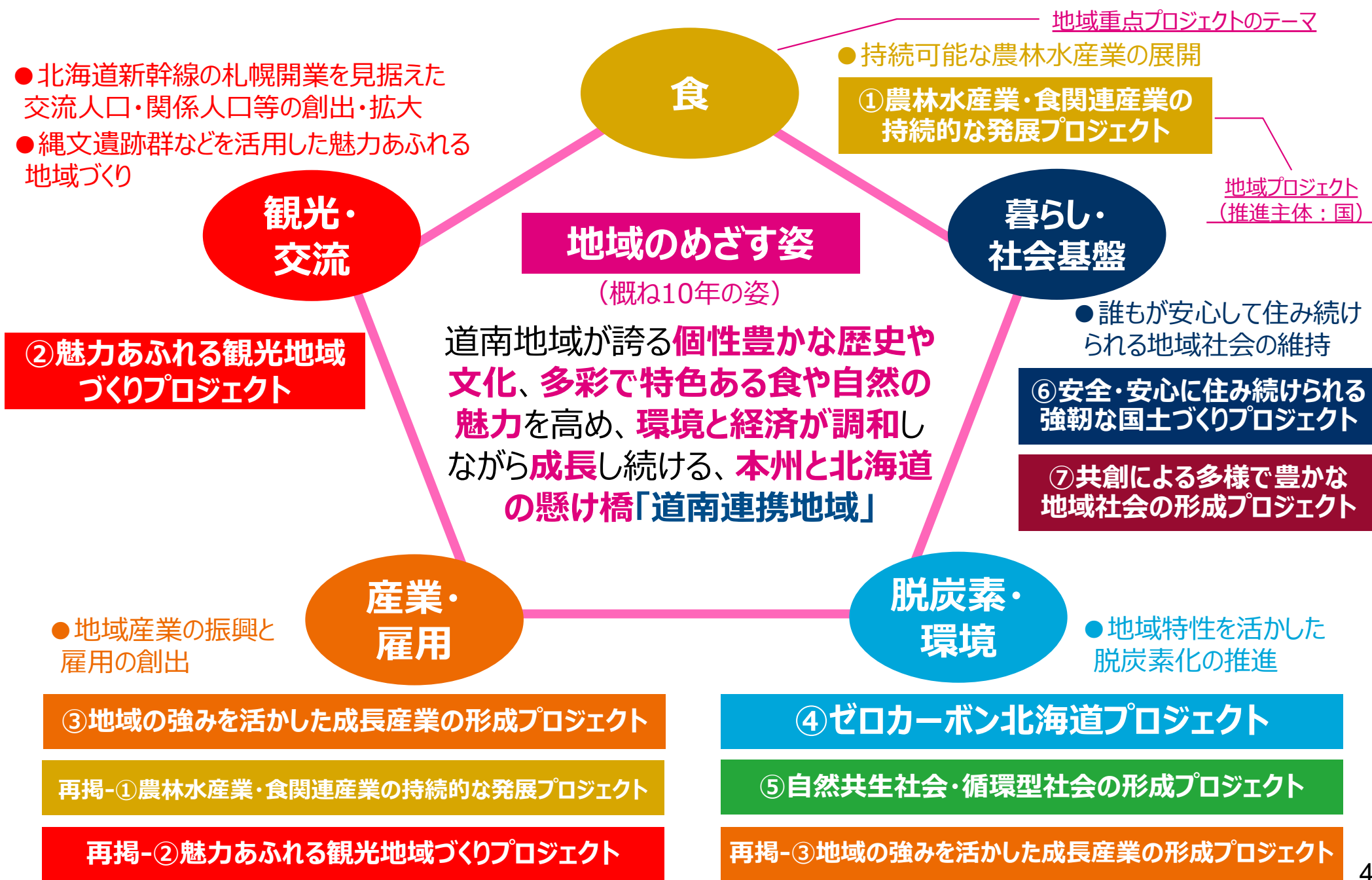
【食】	スマート農林水産業の推進、高収益作物の生産拡大・新規導入、担い手への農地集積・集約化、農業生産基盤の整備、農業水利施設等の補修・更新、災害に強い農業の推進、栽培漁業の推進、道南産品の販路拡大への支援、ブランド化・付加価値向上（道南材、プリ等）、未利用資源の有効活用、担い手の育成・確保
【観光・交流】	北海道新幹線早期完成に向けた要請活動、首都圏・東北・海外へのPR活動、受入体制・二次交通の利便性向上、日本遺産など歴史・文化を活かした誘客、農漁村地域への誘客、ガイド人材の育成、外国人観光客の受入体制・PR強化、移住・定住の取組の認知度向上、地域おこし協力隊定着の取組、ワーケーションの推進、ワーケーション等施設等整備、ワーケーション余暇の観光メニュー開発、若年層のシビックプライド醸成、【縄文遺跡群関係】縄文文化の魅力や価値の発信、世界遺産の理解促進、地域の賑わい創出・地域振興、受入体制・二次交通の整備
【産業・雇用】	事業者の各種事業活動への支援、産学官金連携の新製品・新技術の開発、地域特性を活かした企業誘致、次世代を担う人材の育成・確保、新規高卒者就職段階のミスマッチ解消、障がい者が能力を発揮できる職場環境づくり、外国人材受入れ・多文化共生に関する地域の意識醸成
【脱炭素・環境】	地域一体となった脱炭素の取組、森林環境譲与税等の活用、再生可能エネルギーの開発・導入、洋上風力発電の丁寧な議論、大沼の水質改善など環境保全、自然環境持続のための生物多様性の保全、藻場の保全・創造・CO2吸収量評価
【暮らし・社会基盤】	感染症対応体制の確立、地域防災力の強化、結婚や子どもを生み育てることができる環境づくり、医療体制の確保、住民の健康づくり、医療・福祉従事者の確保・離職防止、地域の医療機関の機能分担・業務提携等による体制整備、未来技術を活用した地域交通の維持、高規格道路の整備、ヒグマに対応できる人材育成

●地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要

項目	食 関連プロジェクト	観光・交流 関連プロジェクト	産業・雇用 関連プロジェクト	脱炭素・環境 関連プロジェクト	暮らし・社会基盤 関連プロジェクト
地域のめざす姿	道南地域が誇る個性豊かな歴史や文化、多彩で特色ある食や自然の魅力を高め、環境と経済が調和しながら成長し続ける、本州と北海道の懸け橋「道南連携地域」				
	■連携地域の主な施策の方向				
	○持続可能な農林水産業の展開	○北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流人口・関係人口等の創出・拡大 ○縄文遺跡群などを活用した魅力あふれる地域づくり	○地域産業の振興と雇用の創出	○地域特性を活かした脱炭素化の推進	○誰もが安心して住み続けられる地域社会の維持
各プロジェクト	○農林水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト ○地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	○魅力あふれる観光地域づくりプロジェクト ○北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト ○縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	○農林水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト【再掲】 ○魅力あふれる観光地域づくりプロジェクト【再掲】 ○地域の強みを活かした成長産業の形成プロジェクト ○地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	○ゼロカーボン北海道プロジェクト ○地域の強みを活かした成長産業の形成プロジェクト【再掲】 ○自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト ○道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト	○安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト ○共創による多様で豊かな地域社会の形成プロジェクト ○暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト

※推進主体： 国（赤字：地域プロジェクト）、道（青字：地域重点政策ユニット）

地域のめざす姿と地域重点プロジェクトとして国が推進する地域プロジェクト



農林水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト

食料生産力の向上により道南地域の農林水産物が安定的に供給されるとともに、デジタル技術等の活用による幅広い農林水産業・食関連産業の展開によって道南地域の所得が向上し、我が国の食料安全保障に貢献することを目指します。

農業の生産力を強化する生産基盤の整備・確保

■ 国営かんがい排水事業（北斗用水地区）

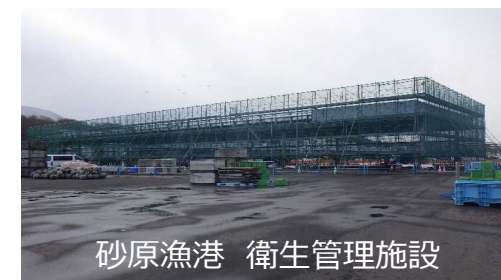
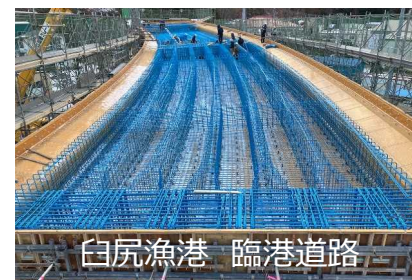


■ 国営緊急農地再編整備事業（今金南地区・今金北地区）



水産業の生産力を支える水産基盤の整備

■ 水産物輸送の効率化を図る臨港道路整備 ■ 水産物の衛生管理対策に資する岸壁等整備



農林水産業の持続性を支える農山漁村の振興 豊富な地域資源を活用した農林水産業と他の産業との連携

■ 「わが村は美しく-北海道」運動の推進



農林水産業を支える物流基盤の整備

■ 高規格道路網等の整備 等

魅力あふれる観光地域づくりプロジェクト

自然環境や歴史・文化を活かした高付加価値な観光資源の創出・拡充によりトップクラスの観光地域づくりを推進し、北海道ブランドの確立を目指します。

また、観光は実際にその場に行くというリアルを前提に成立しており、交通ネットワークの整備等のリアルを支えるインフラ整備を推進します。

多様な旅行者の誘客に向けた安全・安心な受入環境整備の推進

■ 高規格道路網等の整備



北海道縦貫自動車道 オオヌマトンネル

■ ゲートウェイ機能確保する施設整備促進（函館空港）



函館空港の浸水対策

多様な主体との連携による地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりの推進

■ シーニックバイウェイ活動団体との連携及びルート運営行政連絡会議の開催



花街道



木古内

■ 「かわたびほっかいどう」の推進（後志利別川）



第1回 後志利別川清流まつり（R6.7開催）



地域の強みを活かした成長産業の形成プロジェクト

道南地域の基幹産業である農林水産業・食関連産業の展開によって地域の所得が向上し、我が国の食料安全保障に貢献することを目指すとともに、道南地域の強みである「食」、「観光」に加え、「再生可能エネルギー」関連産業等の新たな産業が地域の基幹産業となり、国内外に展開され、地域に雇用が創出されることを目指します。

また、持続可能な道路・港湾・空港等による利便性の高い人流・物流ネットワークを構築するとともに、生産空間で生み出した価値を国内外に届けることを目指します。

地域の強みを活かした再生可能エネルギー関連産業の立地促進・育成

基幹産業である農林水産業の持続性を支える農山漁村の振興

■ 港湾における脱炭素化の推進（函館港）



函館港脱炭素化推進協議会

■ 豊富な地域資源を活用した農林水産業と他の産業との連携による「北海道マリンビジョン」の推進



福島地域マリンビジョン 植樹の取組

カーボンニュートラルポート(CNP)のイメージ

産業の構造転換及び競争力強化への貢献

港湾脱炭素化推進計画策定

室蘭港、苫小牧港

港湾脱炭素化推進協議会設置

稚内港、石狩湾新港、函館港



荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成



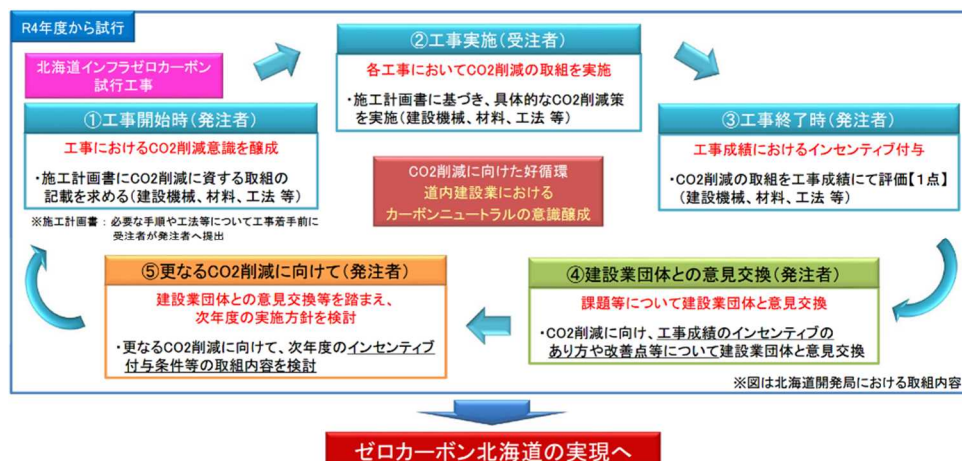
せたな町大成地域マリンビジョン 稚魚放流

ゼロカーボン北海道プロジェクト

ゼロカーボン北海道の実現に向け、道南地域において豊富に賦存する再生可能エネルギーを最大限に活用し、水素等の新たなエネルギーの導入や、CO2吸収源となるブルーカーボン生態系の創出を行い、地域特性を活かした持続可能な脱炭素社会の実現を目指します。

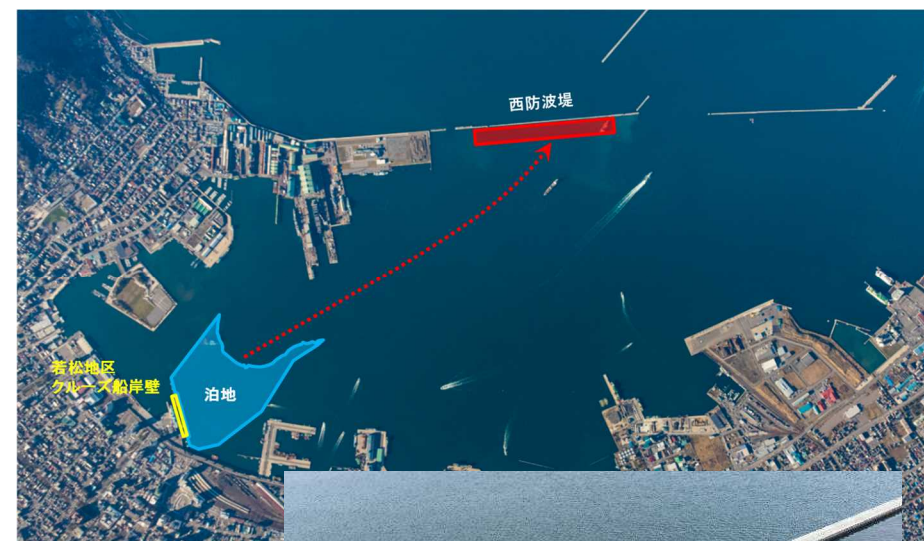
道南の地域特性を活かした持続可能な脱炭素社会の形成

■ 北海道インフラゼロカーボン試行工事の実施



CO2吸収力の発揮

■ 港湾・漁港における藻場造成に向けた取組の推進(函館港西防波堤)



繁茂する大型海藻のホンダワラ



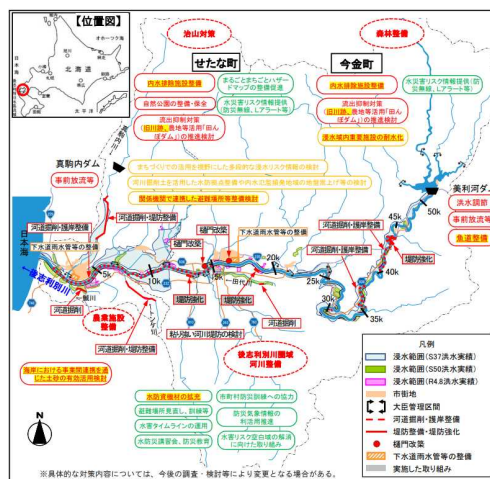
気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模自然災害に対し、あらゆる主体の総力を結集し、安全・安心な地域社会が構築されるとともに、災害時における人流・物流ネットワークやライフライン機能を確保し道南地域の生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な地域づくりを目指します。

冬期災害や複合災害に対する防災力の強化

■冬期道路交通の安全性・信頼性の確保

函館・江差自動車道
視線誘導標

除雪トラックによる雪寄せ



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

協議会の様子



地域防災力の向上

■ 防災関係機関の連携強化

■「道の駅」の防災拠点化

■無電柱化の推進



国道229号 乙部防災



函館若松電線共同溝



災害対策渡島地方本部指揮室
設置・運営訓練



「道の駅」YOU・遊・もり
防災拠点自動車駐車場

共創による多様で豊かな地域社会の形成プロジェクト

生涯にわたり活躍し続ける場の創出や、協働による関係人口の創出・拡大等による活力ある地域コミュニティを実現するため多様な人材・主体による共創を図ります。また、デジタルの活用による生産空間の維持・発展を図ります。

生産空間の暮らしを支える賑わいの場の創出

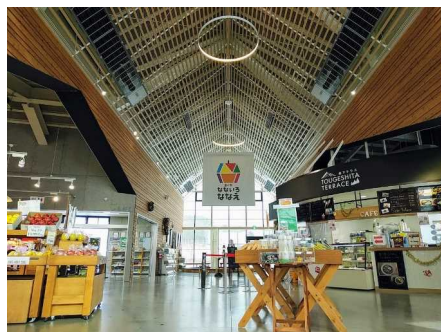
■「道の駅」の休憩・情報発信・地域連携等の機能・魅力の向上



賑わい空間～物販スペース



観光案内所による情報発信



賑わい空間～飲食スペース



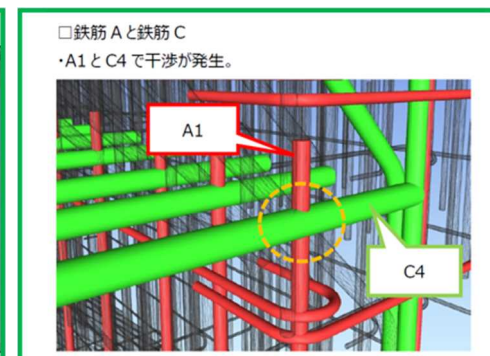
無料休憩所

多様な人材・主体による共創

デジタル技術を活用したインフラの維持管理及び技術活用の推進

■ i-Construction普及のための「北海道開発局i-Con奨励賞」の取組事例周知

(奨励賞受賞工事の取組の一例)



BIM/CIMの活用による鉄筋組立順序の確認



ARの活用による施工予定の構造物の可視化

官民共創の取組

シーニックバイウェイ活動団体との連携及びルート運営
行政連絡会議の開催

観光・
交流

暮らし・
社会基盤



みなとオアシス活動団体との連携及び運営協議会へ
の参画

観光・
交流

暮らし・
社会基盤



鳥取県で開催されたSea級グルメ（R6.11開催）

サイクルツーリズム活動団体との連携及び推進協議会
への参画

観光・
交流



国道パトロールカーが「サイクリスト・
応援カー」として工具等無料貸出



国道上のサイクルルート路面標示

地域マリンビジョン協議会への参画及び現行ビジョンの
改訂

食

観光・
交流

産業・
雇用



福島地域マリンビジョン協議会での
意見交換



奥尻地域マリンビジョン協議会での
意見交換

官民共創の取組

奥尻地区海藻生産・活用調査検討協議会への参画

産業・
雇用

脱炭素・
環境



協議会の様子



協議会の成果の一つである
海藻を原料とした化粧水
(パッケージ等を高校生が企画)

森町のホタテ貝殻利活用勉強会への参画

脱炭素・
環境



勉強会の様子



勉強会参加者による
ホタテ貝殻堆積場の視察

北海道物流マッチングモデル「道南ロジスク」への参画

食



令和6年度「道南ロジスク」の様子

災害時の応援、災害対策用機械の出動等に関する 協定締結

暮らし・
社会基盤



災害対策用機械出動等に関する協定に基づき実施した
排水ポンプ車搭載の水中ポンプ設置・撤去訓練（今金町）